



分野 プロジェクトマネジメント、海外の社会基盤整備のマネジメント

研究テーマ ・海外の社会資本整備のマネジメント
・社会資本整備に民間活力を用いるための手法
・国内外における再生可能エネルギーの開発普及

キーワード プロジェクトマネジメント
民間活力によるインフラ整備
海外市場での受注

所属学会等 土木学会、環境アセスメント学会

特記事項 建設コンサルタントとして海外インフラ事業の経験あり



URL: <http://rd.utsunomiya-u.ac.jp/civil/staff/yamaoka.html>

Mail: yamaokast[at]cc.utsunomiya-u.ac.jp

TEL: 028-689-6213

FAX: 028-689-6213

研究概要

1. 海外の社会資本整備のマネジメント

海外における電力や運輸、上下水道などの社会資本を効果的・効率的に整備するためのマネジメント手法を評価分析している。国際的な事業評価に加えて、日本独自の事業評価制度の構築を目指している。

2. 社会資本整備に民間活力を用いるための手法

電力やその他社会資本の整備に、民間資金や手法を活用・導入するために、日本企業の弱みと強みを分析評価し、日本企業が今後国際市場で受注するための効果的な契約や手法を研究している。

3. 国内外における再生可能エネルギーの開発普及

小水力や風力、太陽光、地熱などの再生可能エネルギーを開発・普及するために、発生エネルギーの安定性や開発コスト抑制、社会自然環境影響などの課題を解決するための研究をしている。

教育・研究活動の紹介 (特徴と強み等)

地域デザイン科学部の他、大学院 工学研究科の学生に海外プロジェクトやプロジェクトマネジメントの講義をしている。近年は、海外プロジェクトの事業評価制度の構築やインフラ整備への民間活力の適用について、土木学会やインドネシアのバンドン工科大学で研究成果を発表している。東南アジアの大学やインフラ整備の関係者とネットワークがあるので、それらの国々と共同で教育や研究を推進できる

今後の展望

これまでの教育・研究成果を踏まえて、さらに日本企業が、東南アジアなどの海外のインフラ整備に進出できるように、受注や契約の新たな制度設計を構築していきたい。また、学生が就職後、海外で活躍できるように彼らの研究を指導し、教育していきたい。

社会貢献等

(社会活動 特許等取得状況 産学連携・技術移転の対応等)

栃木県の建設業と共同して、日本独自の技術によるインドネシアの上水送配水管の洗浄事業化を推進している。栃木県の土木学会では、平成27年度より学術研究部会の部会長をしており、平成28年8月には、建設業関係者が、海外市場での受注を目指すために、演題「建設業の国際化」の講演をした。